



# 新牛久ごみニュース

あなたはレジ袋派ですか！  
マイバッグ派ですか！

## レジ袋無料配布中止の検討を進めています

6・1グラムのCO<sub>2</sub>を排出するので、換算すると年間約1580トンのCO<sub>2</sub>を排出している計算となります。

樹木は空気を浄化してくれるといいますが、1580トンのCO<sub>2</sub>浄化に必要な本数は、樹齢10年ほどに成長したドングリの木に例えると、なんと14万3600本が必要になるのです。

### ☆世界的に深刻な問題となっている地球温暖化

サミットの議題にも取り上げられるほど、深刻な問題となっているのが地球温暖化です。地球温暖化は私たち人間と切り離して考えることはできません。なぜなら、快適な生活を求め続けた結果、地球温暖化の原因の一つであるCO<sub>2</sub>などの温室効果ガスを私たちも大量に排出しているからです。企業では、省エネルギー製品の開発など、地球温暖化防止につながるいろいろな取り組みを行っています。

しかし、家庭ではあらためて何かをしようという意識が無いのが

現実ではないでしょうか。「私一人ぐらい」という考えを、「まず私たちが」という意識に切り替えなければCO<sub>2</sub>を減らすことはできません。例えば、一枚のレジ袋(約7・6グラム)の使用をやめると約46グラムのCO<sub>2</sub>の排出を防ぐことができます。

毎日の生活に買い物は欠かすことができませんが、このときマイバッグを持っていたら、少なくとも買い物の回数分だけはレジ袋を減らすことができます。最近はいしの手の良いものや、とてもおしゃれなマイバッグが出回っていますし、小さく畳んで持ち運びにも便利です。なんとといっても、マイバッグは繰り返し何度でも使えるので、環境にやさしい製品です。

「レジ袋はいりません」と断ることで、わずかですがごみの減量とCO<sub>2</sub>を削減できるわけですから、すぐに誰にでもできる簡単な環境対策といえるでしょう。

### ☆レジ袋を削減するために

市では、環境対策の取り組みとして、これまでスーパーの店頭や

市のイベントなどの機会を利用してレジ袋削減の呼び掛けなどをしてきましたが、なかなか削減できない状況です。

そこで、市民団体の皆さんや食品スーパーを中心とする事業所の方々に参加していただき、レジ袋削減などに係る勉強会を行っています。県内市町村でもレジ袋の無料配布を中止とした自治体が14市町村になり、すでに先行して実施した6市では、レジ袋の辞退率は平均85%の高水準になっています。

このようなことを踏まえて、当市においてもレジ袋無料配布中止に向けて合意形成に努めています。市民の皆さんには、ぜひ繰り返し使えるマイバッグ、マイバスケットなどを利用していただきたいものです。

今後は、市廃棄物対策課ホームページの中でご紹介していきますので、ぜひご覧ください。



問い合わせ 市廃棄物対策課 ☎ 8

73・2111

### ☆ごみの中の1・5%はレジ袋、CO<sub>2</sub>は1580トン分

コンビニエンスストアやスーパー、ホームセンターなど、買い物にはレジ袋が欠かせなくなっていますが、このレジ袋も一度使うとそのほとんどが捨てられています。

前月号でもお伝えしましたが、牛久市の平成19年度の燃えるごみの中には、およそ260トンのレジ袋が入っていました。これは、燃えるごみ全体処理量のたった1・5%ですが、ごみとして焼却するわけですからCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)を排出することは言うまでもありません。

それでは、どれくらいCO<sub>2</sub>を排出するかというと、レジ袋は製造するときにごみとして焼却するとき、1グラム当たり合計で